令和７年度 遠別町各会計歳入歳出決算審査意見書

１　審査の対象

（１）令和７年度　遠別町一般会計歳入歳出決算
（２）令和７年度　遠別町国民健康保険特別会計歳入歳出決算
（３）令和７年度　遠別町国民健康保険診療所特別会計歳入歳出決算
（４）令和７年度　遠別町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算
（５）令和７年度　遠別町介護保険特別会計歳入歳出決算
（６）地方自治法２４１条第５項の適用を受けない特定目的基金
　① 公共施設等整備基金
　② 減債基金
　③ ふるさと創生基金
　④ 地域振興基金
　⑤ まちづくり応援基金
　⑥ 遠別町・キャッスルガー市国際交流基金
　⑦ 遠別町森林環境譲与税基金
　⑧ 国民健康保険給付調整基金
　⑨ 介護保険給付費等準備基金

２　審査の期間

令和８年７月２３日から７月３１日まで（土、日を除く７日間）

３　審査の方法

審査に付された各会計の歳入歳出決算書、歳入歳出決算事項別明細書、実質収支に関する調書及び財産に関する調書並びに基金運用状況を示す書類について、関係諸帳簿、証書類及び各課から提出された資料と照合し、併せて関係職員の説明を求め、計数の正確性、予算執行及び基金運用上の適否等について審査した。

４　審査の結果

審査に付された各会計歳入歳出決算書等は､関係法令に基づき調製されており、その計数は正確であると認めた。

各特別会計及び各基金の計数は正確であり、適切に運用されていると認めた。

5　各会計に対する審査結果と意見

Ⅰ　一　般　会　計

【1】　財政の推移

令和７年度における一般会計決算額は、歳入総額 5,887,355,653円、歳出総額 5,767,632,869円、差引 119,722,784円となり、その処理内容は基金繰入金 113,222,784円、翌年度に繰越すべき財源 1,500,000円、翌年度繰越額 5,000,000円となっている。

なお、過去５ヶ年の決算状況は次表のとおりである。

（単位：円）

区分／年度	歳入決算額（A）			歳出決算額（B）			収支差引額
	金額	収納率（%）	前年対比（%）	金額	執行率（%）	前年対比（%）	（A）－（B）
3	4,467,151,907	99.9	97.2	4,343,931,216	95.3	95.4	123,220,691
4	4,872,271,964	99.9	109.1	4,732,175,799	94.5	108.9	140,096,165
5	6,276,580,904	99.9	128.8	6,130,086,002	95.0	129.5	146,494,902
6	4,517,290,307	99.9	72.0	4,385,612,486	96.0	71.5	131,677,821
7	5,887,355,653	99.9	130.3	5,767,632,869	96.9	131.5	119,722,784

【2】　財政収支の状況

令和７年度の実質収支は 118,223千円であり、前年度実質収支 131,678千円と比較すると、単年度収支は 13,455千円減となる。

実質単年度収支は次表のとおり、本年度は 192,515千円である。

（単位：千円）

区分／年度	歳入総額 (A)	歳出総額 (B)	形式収支 (A)－(B)＝(C)	翌年度繰越財源 (D)	実質収支 (C)－(D)＝(E)	前年度実質収支 (F)	単年度収支 (E)－(F)＝(G)	積立金 (H)	繰上償還金 (I)	積立金取り崩し額 (J)	実質単年度収支 (G)＋(H)＋(I)－(J)
2	4,593,524	4,555,537	37,987	2,280	35,707	27,357	8,350	8,416	0	0	16,766
3	4,467,152	4,343,931	123,221	0	123,221	35,707	87,514	40,681	77,914	0	206,109
4	4,872,272	4,732,176	140,096	4,957	135,139	123,221	11,918	12,336	0	0	24,254
5	6,276,581	6,130,086	146,495	901	145,594	135,139	10,455	21,384	121,782	0	153,621
6	4,517,290	4,385,612	131,678	0	131,678	145,594	△ 13,916	18,946	0	0	5,030
7	5,887,356	5,767,633	119,723	1,500	118,223	131,678	△ 13,455	149,108	56,862	0	192,515

第１　歳　　入

（１）　収入状況

令和７年度歳入予算額 5,951,367,000円に対し、調定額 5,889,524,917円、収入済額 5,887,355,653円、不納欠損額 0円、収入未済額 2,169,264円となっており、収入率は調定額に対して99.9％（前年度 99.9％）である。

なお、各款別における収入状況は次表のとおりである。

（単位：円、％）

款		予算現額	調定額（A）	収入済額（B）	不納欠損額	収入未済額	収入率 (B/A×100)
1　町税		308,622,000	311,492,757	310,355,493	0	1,137,264	99.6
	町民税	143,002,000	144,823,699	144,601,232	0	222,467	99.8
	固定資産税	125,669,000	126,684,561	125,769,764	0	914,797	99.3
	その他	39,951,000	39,984,497	39,984,497	0	0	100.0
2　地方譲与税		89,617,000	89,617,000	89,617,000	0	0	100.0
3　利子割交付金		633,000	633,000	633,000	0	0	100.0
4　配当割交付金		1,460,000	1,460,000	1,460,000	0	0	100.0
5　株式等譲渡所得割交付金		2,576,000	2,576,000	2,576,000	0	0	100.0
6　法人事業税交付金		5,790,000	5,790,000	5,790,000	0	0	100.0
7　地方消費税交付金		74,224,000	74,224,000	74,224,000	0	0	100.0
8　環境性能割交付金		6,286,000	6,286,000	6,286,000	0	0	100.0
9　地方特例交付金		429,000	429,000	429,000	0	0	100.0
10　地方交付税		2,630,172,000	2,630,172,000	2,630,172,000	0	0	100.0
11　交通安全対策特別交付金		0	0	0	0	0	0.0
12　分担金及び負担金		22,978,000	18,014,450	17,069,450	0	945,000	94.8
13　使用料及び手数料		80,119,000	70,103,342	70,016,342	0	87,000	99.9
14　国庫支出金		847,651,000	824,052,221	824,052,221	0	0	100.0
15　道支出金		167,586,000	161,874,587	161,874,587	0	0	100.0
16　財産収入		34,931,000	34,974,821	34,974,821	0	0	100.0
17　寄附金		64,030,000	49,079,560	49,079,560	0	0	100.0
18　繰入金		240,566,000	232,819,000	232,819,000	0	0	100.0
19　繰越金		5,000,000	5,000,000	5,000,000	0	0	100.0
20　諸収入		78,597,000	80,827,179	80,827,179	0	0	100.0
21　町債		1,290,100,000	1,290,100,000	1,290,100,000	0	0	100.0
合計		5,951,367,000	5,889,524,917	5,887,355,653	0	2,169,264	99.9

（２）　財源の構成

財源内訳は、自主財源 800,141,845円で13.7％（前年度 15.0％）、依存財源 5,087,213,808円で86.3％（前年度 85.0％）となっており、分析は次表のとおりである。

（単位：円、％）

区分＼年度	科目	令和７年度（Ａ）			令和６年度（Ｂ）			比率（Ａ/Ｂ×100）
		金額	自主、依存財源に対する割合（％）	総額に対する割合（％）	金額	自主、依存財源に対する割合（％）	総額に対する割合（％）	
自主財源	町税	310,355,493	38.8	5.3	307,725,394	45.4	6.8	100.9
	分担金及び負担金	17,069,450	2.1	0.3	19,662,745	2.9	0.4	86.8
	使用料及び手数料	70,016,342	8.8	1.2	73,790,235	10.9	1.6	94.9
	財産収入	34,974,821	4.4	0.6	6,586,330	1.0	0.1	531.0
	寄附金	49,079,560	6.1	0.8	53,455,240	7.9	1.2	91.8
	繰入金	232,819,000	29.1	4.0	141,401,000	20.9	3.1	164.7
	繰越金	5,000,000	0.6	0.1	5,901,000	0.9	0.1	84.7
	諸収入	80,827,179	10.1	1.4	68,734,886	10.1	1.5	117.6
	計	800,141,845	100.0	13.7	677,256,830	100.0	15.0	118.1
依存財源	地方譲与税	89,617,000	1.8	1.5	87,308,000	2.3	1.9	102.6
	利子割交付金	633,000	0.0	0.0	144,000	0.0	0.0	439.6
	配当割交付金	1,460,000	0.0	0.0	1,389,000	0.0	0.0	105.1
	株式等譲渡所得割交付金	2,576,000	0.1	0.0	2,157,000	0.1	0.0	119.4
	法人事業税交付金	5,790,000	0.1	0.1	5,582,000	0.1	0.1	103.7
	地方消費税交付金	74,224,000	1.5	1.3	68,733,000	1.8	1.5	108.0
	環境性能割交付金	6,286,000	0.1	0.1	5,869,000	0.2	0.1	107.1
	地方特例交付金	429,000	0.0	0.0	10,267,000	0.3	0.2	4.2
	地方交付税	2,630,172,000	51.7	44.7	2,591,031,000	67.5	57.4	101.5
	国庫支出金	824,052,221	16.2	14.0	332,746,325	8.7	7.4	247.7
	道支出金	161,874,587	3.2	2.7	218,007,152	5.7	4.8	74.3
	町債	1,290,100,000	25.4	21.9	516,800,000	13.5	11.4	249.6
	計	5,087,213,808	100.0	86.3	3,840,033,477	100.0	85.0	132.5
歳入合計		5,887,355,653		100.0	4,517,290,307		100.0	130.3

（３）　歳入決算の概要

歳入決算額を町税と町税外に分けると次表のとおりである。

なお、町税の滞納繰越額は、町民税 222,467円、固定資産税 914,797円であり、当該年度における不納欠損処理額は 0円である。

滞納繰越については、前年度と比較すると減少しているが、税負担の公平の原則等から徴収には最善の努力をされたい。

（単位：円、％）

区　分	予算現額（Ａ）	調 定 額（Ｂ）	収入済額（Ｃ）	不納欠損額	収入未済額	収　入　率		前年度収入率
						予 算 対 (C/A×100)	調 定 対 (C/B×100)	
町　税	308,622,000	311,492,757	310,355,493	0	1,137,264	100.6	99.6	99.5
町税外	5,642,745,000	5,578,032,160	5,577,000,160	0	1,032,000	98.8	99.9	99.9
計	5,951,367,000	5,889,524,917	5,887,355,653	0	2,169,264	98.9	100.0	99.9

第２　歳　　出

（１）　予算執行状況

令和７年度の歳出決算は、予算額 5,951,367,000円に対し、支出済額 5,767,632,869円である。予算額に対する執行率は96.9％（前年度 95.9％）で、各款別における予算執行状況は次表のとおりである。

（単位：円、％）

款	予算現額（Ａ）	支出済額（Ｂ）	翌年度繰越額	不　用　額	執　行　率 (B/A×100)
1　議　会　費	34,326,000	33,453,059	0	872,941	97.4
2　総　務　費	771,401,000	702,524,217	22,000,000	46,876,783	91.0
3　民　生　費	841,494,000	791,078,464	0	50,415,536	94.0
4　衛　生　費	251,917,000	240,823,936	0	11,093,064	95.5
5　労　働　費	615,000	553,085	0	61,915	89.9
6　農林水産業費	232,720,000	216,765,158	0	15,954,842	93.1
7　商　工　費	179,415,000	176,769,402	0	2,645,598	98.5
8　土　木　費	487,801,000	484,585,471	0	3,215,529	99.3
9　消　防　費	137,388,000	135,816,744	0	1,571,256	98.8
10　教　育　費	1,782,567,000	1,769,787,958	0	12,779,042	99.2
11　災害復旧費	950,000	5,000	0	945,000	0.5
12　公　債　費	629,253,000	629,246,575	0	6,425	99.9
13　職員給与費	596,520,000	586,223,800	0	10,296,200	98.2
14　予　備　費	5,000,000	0	0	5,000,000	0.0
歳出合計	5,951,367,000	5,767,632,869	22,000,000	161,734,131	96.9

（２）　性質別支出の動向

歳出決算を義務的経費と投資的経費に分類すると、義務的経費の支出は全体の45.0％（前年度 55.7％）で、前年対比10.7ポイント減っている。

投資的経費の支出は32.8％（前年度 17.9％）で、前年対比14.9ポイント増となっている。また、経常収支比率においては84.2％（前年度 81.0％）で前年度比3.2ポイント増となっている。

なお、性質別歳出における過去５ヶ年の内容は次表のとおりである。

（単位：千円、％）

性質区分＼年度		令和３年度		令和４年度		令和５年度		令和６年度(A)		令和７年度(B)		対前年比
		決算額	構成比	決算額	構成比	決算額	構成比	決算額	構成比	決算額	構成比	(B/A×100)
義務的経費	人件費	601,582	13.8	628,486	13.3	532,436	8.7	574,903	13.1	628,604	10.9	109.3
	物件費	608,656	14.0	573,250	12.1	616,744	10.1	623,698	14.2	612,307	10.6	98.2
	維持補修費	179,987	4.1	161,148	3.4	175,954	2.9	208,225	4.7	168,403	2.9	80.9
	扶助費	259,068	6.0	211,981	4.5	244,370	4.0	223,624	5.1	219,111	3.8	98.0
	補助費	821,151	18.9	1,298,327	27.4	859,325	14.0	815,748	18.6	968,551	16.8	118.7
	小計	2,470,444	56.9	2,873,192	60.7	2,428,829	39.6	2,446,198	55.7	2,596,976	45.0	106.2
投資的経費	普通建設事業費	444,419	10.2	589,248	12.5	2,377,774	38.8	753,828	17.2	1,891,344	32.8	250.9
	災害復旧事業費	10,015	0.2	53,679	1.1	25,616	0.4	29,047	0.7	5	0.0	0.0
	小計	454,434	10.5	642,927	13.6	2,403,390	39.2	782,875	17.9	1,891,349	32.8	241.6
その他	公債費	658,257	15.2	623,564	13.2	791,356	12.9	636,644	14.5	629,247	10.9	98.8
	積立金	321,278	7.4	165,270	3.5	92,814	1.5	277,370	6.3	225,855	3.9	81.4
	投資及び出資金・貸付金	20,000	0.5	20,000	0.4	20,000	0.3	25,000	0.6	25,000	0.4	100.0
	繰出金	419,518	9.7	407,223	8.6	393,697	6.4	217,525	5.0	399,206	6.9	183.5
	小計	1,419,053	32.7	1,216,057	25.7	1,297,867	21.2	1,156,539	26.4	1,279,308	22.2	110.6
合計		4,343,931	100.0	4,732,176	100.0	6,130,086	100.0	4,385,612	100.0	5,767,633	100.0	131.5

Ⅱ　国民健康保険特別会計

本会計は、歳入歳出予算額 417,894,000円に対し、次表のとおり収入済額 362,924,970円、支出済額 340,752,181円で、歳入歳出差引額 22,172,789円を国保給付調整基金に繰入れしている。

歳出執行率は81.5%（前年度 82.5%）であり、支出内容は適正と認めた。

なお、当該年度における不納欠損処理額は 0円で、保険税の滞納繰越額は 2,450,792円である。

（1）　歳　　入　　（単位：円、%）

款	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	収入率	
						令和７年度	令和６年度
1　国民健康保険税	81,216,000	92,352,719	89,901,927	0	2,450,792	97.3	96.4
2　国庫支出金	3,882,000	3,036,601	3,036,601	0	0	100.0	0.0
3　道支出金	294,995,000	233,204,108	233,204,108	0	0	7.0	100.0
4　財産収入	50,000	38,656	38,656	0	0	100.0	100.0
5　繰入金	37,746,000	36,663,980	36,663,980	0	0	100.0	100.0
6　繰越金	1,000	0	0	0	0	0.0	0.0
7　諸収入	4,000	79,698	79,698	0	0	100.0	100.0
合計	417,894,000	365,375,762	362,924,970	0	2,450,792	99.3	99.0

（2）　歳　　出　　（単位：円、%）

款	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率	
					令和７年度	令和６年度
1　総務費	26,085,000	24,045,809	0	2,039,191	92.2	97.0
2　保険給付費	223,051,000	157,733,088	0	65,317,912	70.7	70.5
3　国民健康保険事業費納付金	97,506,000	90,186,000	0	7,320,000	92.5	100.0
4　財政安定化基金拠出金	1,000	0	0	1,000	0.0	0.0
5　保健事業費	5,562,000	3,229,628	0	2,332,372	58.1	58.6
6　基金積立金	50,000	38,656	0	11,344	77.3	46.7
7　公債費	120,000	0	0	120,000	0.0	0.0
8　諸支出金	65,519,000	65,519,000	0	0	100.0	100.0
合計	417,894,000	340,752,181	0	77,141,819	81.5	82.5

（３）　国民健康保険税の課税調

区分 / 年度	課税対象世帯数・被保険者数				1世帯当り及び1人当り課税額			
	当初予算		決算		当初予算		決算	
	世帯数（戸）	被保険者数（人）	世帯数（戸）	被保険者数（人）	1世帯当り（円）	1人当り（円）	1世帯当り（円）	1人当り（円）
令和７年度	296	479	375	545	274,209	169,449	237,476	163,400
令和６年度	357	586	380	563	220,756	134,488	238,414	160,919
前年対比（増減）	△ 61	△ 107	△ 5	△ 18	53,453	34,961	△ 938	2,481
前年対比増減率（％）	△ 17.1	△ 18.3	△ 1.3	△ 3.2	24.2	26.0	△ 0.4	1.5

（４）　国民健康保険における医療費の推移　　（単位：円、人）

種目 / 年度	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度
医療費（保険給付費）	189,390,874	170,298,637	167,543,442	157,171,254	157,733,088
一人当たり医療費	283,944	271,176	275,112	279,167	289,419
被保険者数	667	628	609	563	545

Ⅲ　国民健康保険診療所特別会計

本会計は、歳入歳出予算額 488,950,000円に対し、次表のとおり収入済額 482,001,552円、支出済額 475,742,526円で、歳入歳出差引額 6,259,026円を翌年度に繰越している。一般会計からの繰入金は 252,000,000円、国民健康保険特別会計からの繰入金は 65,519,000円となっており、歳入の比率は診療収入17.3%、使用料及び手数料0.2%、財産収入0.4%、繰入金65.9%、繰越金4.3%、諸収入3.6%、町債8.3%となっている。

歳出執行率は　97.3%（前年度 94.8%）であり、支出内容は適正と認めた。

（1）　歳　　入　　（単位：円、%）

款	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	収入率	
						令和７年度	令和６年度
1　診療収入	83,446,000	83,167,176	83,167,176	0	0	100.0	100.0
2　使用料及び手数料	1,309,000	967,480	967,480	0	0	100.0	100.0
3　財産収入	1,966,000	1,800,677	1,800,677	0	0	100.0	100.0
4　繰入金	322,673,000	317,519,000	317,519,000	0	0	100.0	100.0
5　繰越金	20,798,000	20,798,121	20,798,121	0	0	100.0	－
6　諸収入	18,531,000	17,521,384	17,521,384	0	0	100.0	100.0
7　町債	40,000,000	40,000,000	40,000,000	0	0	100.0	－
8　道支出金	227,000	227,714	227,714	0	0	100.0	100.0
合計	488,950,000	482,001,552	482,001,552	0	0	100.0	100.0

（2）　歳　　出　　（単位：円、%）

款	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率	
					令和７年度	令和６年度
1　総務費	382,153,000	373,590,347	0	8,562,653	97.8	96.5
2　医業費	48,519,000	44,125,417	0	4,393,583	90.9	81.9
3　施設整備費	40,135,000	40,135,000	0	0	100.0	－
4　公債費	17,943,000	17,891,762	0	51,238	99.7	98.2
5　予備費	200,000	0	0	200,000	0.0	0.0
諸支出金	0	0	0	0	－	99.9
合計	488,950,000	475,742,526	0	13,207,474	97.3	94.8

（３）　診療所における各種業務の割合　　（単位：％、人、床）

区分 / 年度	歳出総額に占める料金収入等の割合	人件費に占める料金収入等の割合	病床数	年間入院患者数	1日平均	年間外来患者数	1日平均
令和７年度	18.1	28.9	19	942	2.6	7,772	32.0
令和６年度	28.7	40.9	19	1,504	4.1	7,596	31.3
令和５年度	29.3	39.9	36	1,183	3.2	8,156	33.3
増減	△ 0.6	1.0	△ 17	321	0.9	△ 560	△ 2.0

※　令和5年度は、病院事業における数値である。また、令和7年度1～3月は入院停止中である。

Ⅳ　後期高齢者医療特別会計

本会計は、歳入歳出予算額 59,188,000円に対し、次表のとおり収入済額 56,640,132円、支出済額 56,585,132円で、歳入歳出差引額 55,000円を翌年度に繰越している。

歳出執行率は95.6％（前年度 97.8％）であり、支出内容は適正と認めた。

なお、当該年度における不納欠損処理額は 0円で、保険料の滞納繰越額は 0円である。

（１）　歳　　入　　（単位：円、％）

款	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	収入率 令和７年度	収入率 令和６年度
1　後期高齢者医療保険料	41,716,000	40,730,000	40,730,000	0	0	100.0	100.0
2　繰入金	16,751,000	15,153,131	15,153,131	0	0	100.0	100.0
3　繰越金	3,000	2,600	2,600	0	0	0.0	0.0
4　諸収入	3,000	39,401	39,401	0	0	0.0	0.0
5　国庫支出金	715,000	715,000	715,000	0	0	100.0	－
合計	59,188,000	56,640,132	56,640,132	0	0	100.0	100.0

（２）　歳　　出　　（単位：円、％）

款	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率 令和７年度	執行率 令和６年度
1　総務費	856,000	747,144	0	108,856	87.3	35.3
2　後期高齢者医療広域連合納付金	58,322,000	55,832,788	0	2,489,212	95.7	99.8
3　諸支出金	10,000	5,200	0	4,800	52.0	52.0
合計	59,188,000	56,585,132	0	2,602,868	95.6	99.6

Ⅴ　介護保険特別会計（保険事業勘定）

保険事業勘定は、歳入歳出予算額 357,829,000円に対し、次表のとおり収入済額 330,914,284円、支出済額 315,367,973円で、歳入歳出差引額 15,534,071円を介護保険給付費等準備基金に繰入れしている。

歳出執行率は88.1％（前年度 94.9％）であり、支出内容は適正と認めた。

なお、第１号保険者現年度分普通徴収保険料の滞納額は 0円、不納欠損額 0円、過年度分普通徴収保険料の滞納額は 12,240円である。

（1）　歳　　入　　（単位：円、％）

款	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	収入率	
						令和７年度	令和６年度
1　保険料	54,669,000	54,575,540	54,563,300	0	12,240	99.9	99.9
2　国庫支出金	84,688,000	80,406,548	80,406,548	0	0	100.0	100.0
3　支払基金交付金	91,453,000	84,160,812	84,160,812	0	0	100.0	100.0
4　道支出金	52,687,000	47,901,884	47,901,884	0	0	100.0	100.0
5　財産収入	100,000	70,828	70,828	0	0	100.0	100.0
6　繰入金	74,227,000	63,748,137	63,748,137	0	0	100.0	100.0
7　繰越金	1,000	0	0	0	0	0.0	0.0
8　諸収入	4,000	50,535	50,535	0	0	100.0	100.0
合計	357,829,000	330,914,284	330,902,044	0	12,240	99.9	99.9

（2）　歳　　出　　（単位：円、％）

款	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率	
					令和７年度	令和６年度
1　総務費	13,302,000	12,172,080	0	1,129,920	91.5	94.1
2　保険給付費	322,131,000	282,087,118	0	40,043,882	87.6	95.2
3　地域支援事業費	16,110,000	14,909,742	0	1,200,258	92.5	82.7
4　基金積立金	100,000	70,828	0	29,172	70.8	52.0
5　公債費	50,000	0	0	50,000	0.0	0.0
6　諸支出金	6,136,000	6,128,205	0	7,795	99.9	100.0
合計	357,829,000	315,367,973	0	42,461,027	88.1	94.9

Ⅵ　介護保険特別会計（介護サービス事業勘定）

介護サービス事業勘定は、歳入歳出予算額 9,683,000円に対し、次表のとおり収入済額 9,456,960円、支出済額 9,200,723円で、歳入歳出差引額256,237円を翌年度に繰越している。

歳出執行率は95.0％（前年度 93.8％）であり、支出内容は適正と認めた。

（1）　歳　　入　　（単位：円、％）

款	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	収入率	
						令和７年度	令和６年度
1　サービス収入	872,000	831,120	831,120	0	0	100.0	100.0
2　繰入金	8,585,000	8,400,000	8,400,000	0	0	100.0	100.0
3　繰越金	225,000	225,729	225,729	0	0	100.0	100.0
4　諸収入	1,000	111	111	0	0	0.0	0.0
合計	9,683,000	9,456,960	9,456,960	0	0	100.0	100.0

（2）　歳　　出　　（単位：円、％）

款	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率	
					令和７年度	令和６年度
1　総務費	7,998,000	7,988,323	0	9,677	99.9	98.2
2　サービス事業費	1,685,000	1,212,400	0	472,600	72.0	75.6
合計	9,683,000	9,200,723	0	482,277	95.0	93.8

６　総　括

一般会計歳入歳出決算及び各特別会計歳入歳出決算は、法令の定める様式により作成され、証書類も整備され会計経理は概ね良好であり、歳入歳出決算額は決算成果説明書と一致している。令和７年度各会計歳入歳出決算審査においての指摘事項等は、次の３点である。

１．高齢者自立支援事業（除雪サービス）について

除雪サービス事業については、令和７年度から高齢者事業団の人員不足により対応が困難となったことから、民間事業者による実施へ変更されました。

しかし、本事業は遠別町と遠別町社会福祉協議会との業務委託契約に基づき実施されているものの、社会福祉協議会から民間事業者への再委託について、契約書に再委託を可能とする条項が明記されておらず、契約内容として十分とは言い難い状況であります。契約の実態に即した契約条項となるよう、次年度以降の是正を求めます。

また、社会福祉協議会と民間事業者との契約については、口頭により発注していたことが確認され、契約の透明性及び責任の所在を明確にする観点から、契約書等による適正な契約事務を行うよう、担当課による指導・監督を徹底すべきであります。

２．今後の公営住宅の管理について

令和７年度末における公営住宅の管理状況は、管理戸数２０８戸に対し、募集停止中・解体予定住宅を除いた実質空室数は４６戸、実質空室率は２４．４％となっています。また、過去３年間の入退去状況は、入居３５世帯に対し退去７２世帯と、空室が増加する傾向が見受けられます。

空室増加の要因としては、人口減少に加え、建物の老朽化や設備・間取りが現代の居住ニーズに適合していないことなどが考えられます。

公営住宅の空室対策は喫緊の行政課題であり、本来の入居対象者への供給に必要なストックを確保しつつ、空室の有効活用を図ることが重要であります。

このため、公営住宅法に基づく目的外使用である「地域対応活用」制度を積極的に活用し、子育て世帯への支援、農林水産業・観光・福祉・医療・介護分野における人材確保支援、外国人労働者の住居支援など、地域課題の解決につながる幅広い活用について、庁内関係部署が連携した横断的な検討を早急に進めていただきたい。

あわせて、入居条件や運用方法についても地域の実情を踏まえた見直しを行い、公営住宅ストックの有効活用と定住促進の両立に向けた取組を推進されるよう期待します。

３．ふるさと納税について

令和７年度のふるさと納税寄附額は約３，５００万円となり、前年度と比較して約１，５００万円の減収となりました。

担当課においては、新たな返礼品の開発やＰＲ活動など、寄附額の確保に向けた取組を進めていることは評価するものの、寄附額は年々減少傾向にあることから、その要因を十分に分析し、安定した寄附の確保につながる対策を講じる必要があります。

ふるさと納税は本町にとって重要な自主財源であり、財源確保のみならず地域産業の振興にも寄与する制度であります。寄附者のニーズや市場動向を的確に把握するとともに、定番返礼品の掘り起こしや魅力ある新たな返礼品の開発、効果的な情報発信の充実など、取組を一層強化し、持続的な寄附額の確保に努めていただきたい。

一般会計歳入歳出決算書の財政状況指数（経常収支比率、公債費負担比率）及び健全化判断比率（実質公債費比率、将来負担比率）は国の示す基準の範囲内となっています。令和８年度で大型事業は一段落しますが、今後、実質公債費比率及び将来負担比率の上昇が見込まれることから、町民サービスの低下とならぬよう、財源確保を図るとともに、ふるさと納税等の自主財源の確保及び更なる経費の削減に努めていただくようお願いします。